

ZINIA  
まきる



菊池市立菊池北中学校 学校だより No.02

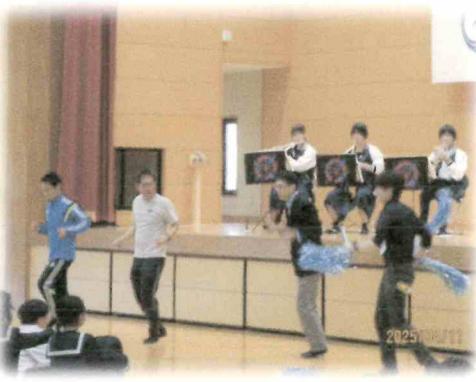
2025.4.18 文責 岩谷 寛

がまだせ クマモト！

がまだせ 北中！



百日草



掲揚台×ポールにて  
(菊心台の空で  
(バスケットと泳ぐ魚のぼり))

「新時代を築く105名！」

早朝で、入学式から10日がたちました。ソラドリガ辰が返ります。  
1年生にとって学校生活最初の学校行事でした。“儀式”的意味を  
きちんと理解し、“アレル”な“態度”で式に参加できることができました。最高のスタートが切れましたと思いま。

翌日から、また1ヶ月前の中学校生活が始まりました。ランチルームで全校生徒そろって食べる給食、授業ごとに先生が立ち会うこと、広い不造校舎等々共に学び合おうとするはぎわいとなり、この環境の大変な変化に、とどきもさがったことであります。11日(金)には、生徒会主催の“新入生歓迎会”が行われました。集会で“座礼”を行う文化は、私自身も初めてでした。これは日本の“さき伝統”なのでですね。部活動紹介は、おおいに盛りあがりました。上の写真は吹奏楽部の演奏に合わせて踊る先生たちの姿です。私は北中の子供たちの姿と、明るい先生方の姿に心が癒いやされました。新時代を築く105名の子供たちと、はじめて本格スタートです!!

がまだせ  
熊本

9年の月日が流れました。あの時の県民のあい言葉は、“がまだせ熊本”  
2016年4月14日午後の時26分は職員室にいました。突然の震え、搖れに一瞬から大地が固りました。次の瞬間、自分の机の下にもぐりこんでしまってよく震えています。  
数度となく、続く余震の中、4月16日午前1時25分、後に本震と報じられた二度目の大きな地震に至り、熊本は甚大な被害を受けました。

熊本地震から9年…この春は、熊本地震災ミニシアムKIOKIにも足をはこびました。その当時は本当に多くの方が苦難をのりこえました。“がまだせ熊本”“がんばろう熊本”という言葉があちこちで飛び交っていました。この9年で、熊本は確実に前進し、私たちも日常を取り戻していました。

私たちは、あの熊本地震で本当にたくさんのことを学んだ気がします。あの時の記憶を風化させないためにここに記します。

今は、復興に向かって前を向こうとする姿。多くの人々から受けた愛の言葉や支援に励みますこと、そして何より、日常」というのがいかに大切なのか、またいかにいいこと。あたり前だと思って、いつもそれが突然、目の前からなくなってしまう絶望感の中で、いつも私たちが恵まれた生活をしていかどうことに対する想いができます。

水道の蛇口をひねれば水が出る。スイッチを押せば電気がつく。温かい食事もありました。時にはあたり前ではありますでした。時間が経てば苦しかった記憶も少しづつ薄らいでいます。だから来てもらえてほんとうに記憶として毎年この時期が来たら思い出してください。あたしの日常に感謝

私の震災とあります。私たちがもう一度、大切にはいねばならないことです。